様式７

：「学校」部門

# 河川基金助成事業

# 「身近な川の水質と生き物から考える環境学習」
# 報告書

助成番号：2020 - 7211 - 002

岐阜県岐阜市立長森南中学校

校長　　服部　和文

2020 年度

様式　8

〔学校部門〕　　［概要版報告書］

| 助成番号 | 助成事業名 | | 学校名 |
|---|---|---|---|
| 2020-7211-002 | 身近な川の水質と生き物から考える環境学習 | | 岐阜県岐阜市立長森南中学校 |
| 校長名 | 服部　和文 | 担当教諭名 | 松尾　伸也 |
| 過去の助成実績 | なし　[あり]〔助成番号：2019-7211-010 助成事業名：河川の水質と水生し生物から身近な環境を考える学習〕 | | |
| キーワード | 教育活動　　水生生物　　環境 | | |
| 対象児童生徒 | 高校生（　年　　名）　中学生（１年１３１名）　小学生（　年　　名） | | |
| 対象河川名 | 境川 | 活動場所の指定状況 | [なし]　子どもの水辺　水辺の楽校 |

**年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ**

**テーマ**　：身近な「水」の環境を通して生き方を考える。
**ねらい**　：身のまわりの水環境に目を向け、生活と水環境のかかわりに気づいたり、情報を発信したりする。
**評価の観点**：仲間とともに安全に活動し調査・比較・考察する技能を身につけ、必要な情報を発信できたか。
**活動時期**　：９月、10 月、11 月、12 月、１月

| 活動形態 | [総合的な学習の時間] | 各教科学習（　　） | 各教科学習（　　） | 学校行事 | その他（　　） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 上記の活動時間数 | ２３時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 |

**支援者等（複数記入可）**

| 保護者 | 外部小学校 | 外部中学校 | 外部高校 | 外部大学 | [市民団体] | 専門家等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| [河川管理者] | [行政機関]（博物館、資料館）等 | 関係団体（漁協、農協）等 | | | 企業 | その他 |
| 支援概要 | ・小林由紀子氏(環境カウンセラー)の監修のもと、岐阜県土木事務所、岐阜市自然環境課、河川環境楽園自然発見館の方々を講師としてお招きし、水質調査や水生生物調査の仕方を学び、実際に調査活動をおこなった。 | | | | | |

| 活動成果 | 発表形態 | | | 成果作品 |
|---|---|---|---|---|
| | [学級単位] | 学年単位 | 学校全体 | 記録をプリントにまとめ、それを利用しての発表 |
| | 対外発表（　　） | | | |

**安全対策に関する課題**

・天候を心配していたが、当日は晴れて、無事に実施することができた。関係機関と連携をとり、水門の閉鎖等、安全に活動ができるような体制を関係諸機関と連携しあって整えておいたため、安全を確保しながら実施できた。また監視体制を整えるために人員を十分に確保することも引き続き継続したい。
・川に入る際、スニーカーを履くことを徹底したことで、けがをすることがなかったため、来年も継続したい。

**活動の成果と今後の課題・展開**

・生物多様性や絶滅危惧種など、持続可能な社会への取り組みにつながるよう。生態系への理解を深め、水や人々の暮らしとの関連性に目を向けさせることで、引き続きより高度な環境への関心へとつなげていきたい。
・今年度はコロナウィルスの影響により、郡上研修が中止になったため、水質調査方法やデータ比較ができなかった。来年度は郡上と岐阜の環境や水質の比較の仕方など、さらに正確な技術をしっかりと身につけさせた上で取り組ませていきたい。また調べた調査内容からの考察力を高め、課題かへつながることができるように指導したい。
・今年度は学年での発表も実施することができなかった。来年度は学んだことをまとめ、発表して地域に発信していくなどの取り組みにまで発展させていきたい。

**活動内容と実施時期（主な活動を２つのみ記入）**

| | 部門 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 実施時期 |
|---|---|---|---|---|---|
| データベースに登録する活動分野 | 学校部門 | 教育活動 | 生物調査　系 | 魚類 | ６　月 |
| | | | 生物調査　系 | 生き物と環境 | １　月 |

**※データベースに登録する活動分野は、本冊子Ｐ．４６の活動分野一覧表から代表的なものを２つ記入して下さい。**

様式　１０

# スタートアップ活動報告書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1.助成事業 | 身近な川の水質と生き物から考える環境学習 | | |
| 学校名 | 岐阜県岐阜市立長森南中学校 | 助成番号 | 20207211-002 |
| 2.実施した教科・領域 | 総合的な学習の時間 | | |
| 3.実施日時 | ９月～1 月 | | |
| 4.単元目標 | 身の周りの水環境に目を向け、生活と水環境の関わりに気づき、環境のために自分のできることを考える。 | | |
| 5.学年 人数 | 中学校１年　１３１人 | | |
| 6.実施場所 | 境川、教室、家庭 | | |

## 活動指導報告実施内容　第 1学年　総合的な学習の時間　全23時

**第１次**

学習活動　　水とわたしたち　　９時間

| | |
|---|---|
| オリエンテーション | 1 |
| 水の重要な役割を知る | 2 |
| 身近な水（境川）の環境調査 | ３～７「川の活動」 |
| 境川の水辺の生き物の調査をまとめる | ８～９ |

**第２次**

学習活動　　エネルギーとわたしたち　　４時間

| | |
|---|---|
| 地球の今ある環境問題について知る | １０ |
| 身の周りで使っているエネルギーについて調べ方を知る | １１ |
| 調べてきたことを交流し、エネルギーの重要性に気づく | １２～１３ |

**第３次**

学習活動　　地球の環境　　１０時間

| | |
|---|---|
| エネルギーに関わる３つの活動をする | １４～１７ |
| ＊水素自動車　　＊ハイブリッド車と電気自動車　　＊地熱伝える活動 | |
| ＊環境学習のまとめと新聞づくり | １８～２１ |
| ＊学年・学級での成果発表会 | ２２～２３ |

注）川で学習を行う場合は、時数の横に「川の活動」と記述する。

別途資料（1）　指導案　　3～7/23

**1年生総合『環境学習』 境川での校外調査について**

**1. 目的**　自分たちが住んでいる近くの川（中流域）の水質や生物の様子を調べることを通して、川の環境の興味関心を高め、自分たちの生活を考えることができる。

**2. 実施日**

実施日：2020年10月6日（火）3・4時限目【午前の部】
5・6時限目【午後の部】

予備日：2020年10月9日（金）

※雨天の場合、6日の朝8時までに中止を決定。**中止の場合午後の校外調査のみ9日に延期し、午前の部は6日に実施する。**

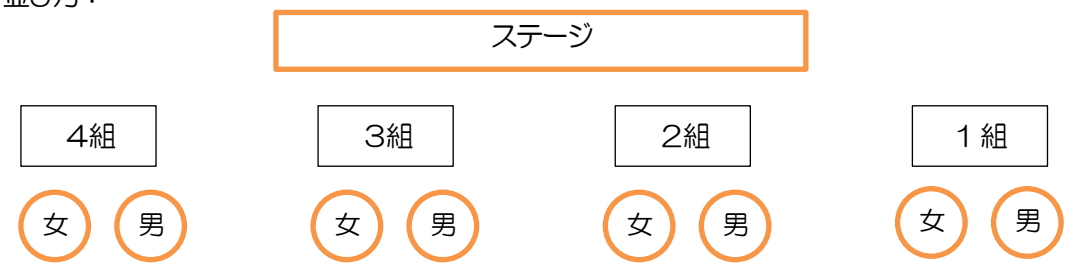
時　間：午前10：35～12：00（場所：長森南中体育館）
午後13：30～15：20（集合場所：岐阜市高田地内境川）
※長森南中より東に1.85㎞（徒歩約40分弱）の地点

**3. 指導者**

小林由紀子先生（生涯学習研究所　代表理事）　岩井辰水先生（自然発見館）
安藤志郎先生（自然観察指導員）　その他1名以上
岐阜県土木事務所の方　その他

**4. 活動スケジュール**

【午前の部】場　所：長森南中体育館　＊筆記用具をもって体育館へ
準　備：プロジェクター、マイク、画用紙24枚、付箋24セット
並び方：




| 時間 | 内容 | 担当 |
|---|---|---|
| 10：35～10：40 | あいさつ<br>めあて<br>講師紹介 | 学級委員<br>岩村<br>松尾 |
| 10：40～11：35 | 水の必要性<br>魚類を含む水中生物の捕り方など | 小林<br>岩井 |
| 11：35～11：55 | 安全管理について | 平田 |
| 11：55～12：00 | 今後の動きについての連絡 | 岩村 |

【午後の部】
（車で運ぶもの）
1．ライフジャケット　5人班2着ずつ、6人班3着ずつ　＊2着ほど。報告書用に一部の生徒を撮影。
1、3、4組　各15着、2組14着　　計59着
2．たも　　140本
3．バケツ　　班に1個　　学級6個　　計24個
（各クラス、前日の掃除終わりに掃除場所から教室へ持っていく。）
4．胴長　　教師分
5．水槽　　1個
6．拡声器　　4個

（生徒の持ち物）

1．タオル　　2．水筒　　3．帽子　　4．カッパ（天候による）

| 時間 | 内容 | 担当 |
|---|---|---|
| 12：00 | 午前の部終了 | |
| 12：10～ | 給食配膳 | |
| 12：20～12：40 | 給食 | |
| 12：40～ | 片付け、運動場に整列→男女別出席番号順<br>国旗掲揚塔<br>4組 ・・・・ 1組<br>女 男 女 男 校門 | |
| 12：55 | 1組より学校出発（集まったら早めに出発） | |
| 13：25 | 現地到着・整列<br>テント テント<br>4組 ・・・・・ 1組<br>6 5 4 3 2 1<br>※着いたクラスから道具を取りに行く。 | |
| 13：25～13：40 | はじめの会　あいさつ・注意事項など | 岩村・学級委員 |
| 13：40～14：30 | 魚類を含む水中生物の採捕 | |
| 14：30～14：50 | 観察・記録・説明・片付け | |
| 14：50～15：00 | おわりの会　お礼の言葉・あいさつ | 岩村・学級委員 |
| 15：00～16：00 | 現地出発、学校到着、帰りの会（お茶1本配布） | |

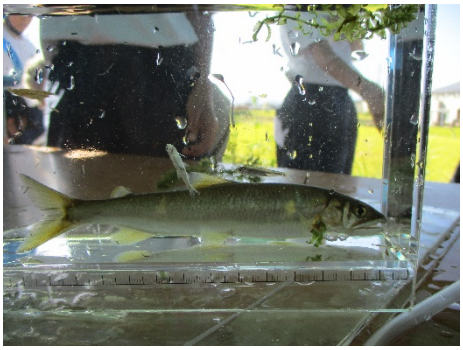
**5.　生徒の当日の持ち物**

- 体操服
- 着替え（ぬれたときの体操服）
- スニーカーでぬれてもよい靴
  （サンダルは禁止。汚れてもよいスニーカー~~が望ましい。~~）
  ※川の中ではきます
- 水筒（学校で水を入れます。）
- タオル
- 帽子、カッパ（天候により）→晴れても持ってこさせる。
- 観察用プラスチックケース

（ひも付きが望ましい。ない場合は、2リットルのペットボトルで自作プラケース水槽を作成してもよい。上の写真参照）

専門家の先生のよる説明

水生生物・アユ



様式13

〔学校部門〕　共通　　［活動写真］

| 助成番号 | 助成事業名 | 学校名・学校長氏名 |
|---|---|---|
| 2020-7211-002 | 身近な川の水質と生き物から考える環境学習 | 岐阜市立長森南中学校・服部　和文 |

フィールド：学校（体育館）
日　　付　：令和２年１０月６日（火）
コメント：環境カウンセラーの小林由紀子先生と、河川環境楽園自然発見館の岩井先生を、外部講師としてお招きし、水に関わる知識や世界の水事情、生物の生態調査の方法を学んだ。

フィールド：境川中流域（校区）
日　　付　：令和２年１０月６日（火）
コメント：岐阜県土木事務所砂防課、岐阜市役所自然環境課の方々の協力を得て、校区の境川の水生生物調査をおこなった。境川の生物多様性や特定外来種による生物維持の危機など水質の面だけではなく、水環境と生物との関わりについても学ぶことができた。

フィールド：学校（体育館）
日　　付　：令和２年１０月６日（火）
コメント：環境カウンセラーの小林由紀子先生と、岐阜市役所・環境部・低炭素資源循環課の方々の協力を得て、環境変動やエネルギーについての講話を聞き、身近なエネルギーについて興味をもつことができた。

フィールド：学校（教室）
日　　付　：令和３年１月１５日（金）
コメント：自然学総合研究所の寺尾宏先生と三宮一悦先生を講師にお招きして、地中熱や地下水資源の活用について学ぶことができた。身近で利用されているのに、知らないことだったため、生徒は興味をもって聞いていた。

フィールド：学校（武道場前）
日　　付　：令和３年１月１５日（金）
コメント：講話で知った地中熱や地下水を実際に利用した足湯を実際体験した。生徒はエネルギー資源の利用についての興味関心をより深めることができた。

フィールド：学校（学校周辺）
日　　付　：令和３年１月１５日（金）
コメント：岐阜トヨペットに協力していただき、水素自動車をお借りして、試乗体験を行った。次世代エネルギーの利用を実際に体験することにより、自分たちがこれからできることについて考えを深めることができた。

様式 14

〔学校部門〕

［実施箇所位置図］

| 助成番号 | 助成事業名 | 学校名・学校長氏名 |
|---|---|---|
| 2020-7211-002 | 身近な川の水質と生き物から考える環境学習 | 岐阜市立長森南中学校・服部　和文 |

助成事業の主な実施箇所

| 主な実施箇所 | 境川（岐阜市） |
|---|---|

※環境学習を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を 2 カ所程度記載してください。
※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
（縮尺は 1/50 万～1/100 万程度）